

LoCo Music Studio Presents

シアトル(USA)を拠点に世界で活躍するトランペッター、
ジェイ・トーマス 氏を迎え、日米の精鋭ミュージシャンが集うスペシャルライブ!

11/8(水)

Open 19:00 Start 19:30

会場 : LoCo Music Studio

Ticket: ¥3,500(前売) / ¥3,800(当日)

"ジェイ・トーマス (trumpet) Sextet "
池田 篤 (alto sax)
小濱 安浩 (tenor sax)
熊谷ヤスマサ (piano)
金子 健 (bass)
倉田 大輔 (drums)

Guest : "シアトルフレンズ"



ジェイ・トーマス (tp)

小濱安浩 (ts)

池田篤 (as)



金子健 (b)



熊谷ヤスマサ (p)



倉田大輔 (ds)

●LoCo Music Studio

〒343-0813
埼玉県越谷市越ヶ谷 1-16-6
ALCo 越谷ショッピングスクエア 2F
東武スカイツリーライン越谷駅東口徒歩 5分

●チケット申込み・お問い合わせ :
越谷 NSC 開発 (株) TEL 048-960-1611



www.loco-music.co.jp

Profile

Jay Thomas (ジェイ・トーマス) Trumpet FluegelHorn

1949年アメリカ、シアトル生まれ。トランペット、フリューゲルホーン、テナー・ソプラノサクソ、フルートを完璧にこなす、世界に類を見ないマルチ管楽器プレイヤー。ボストンパークリー音楽大学に入学。フレディー・ハーバードの指導者として著名な金管楽器の大家カーマイン・カルーソー氏に師事。その後ニューヨークに進出しエルビン・ジョーンズ・ソニー・スティット、ジミー・ギャリソン、チェット・ベイカー、ズート・シムズ、チック・コリア、チャールス・マクファーソン、ピリー・ヒギンズ、ジェームス・ムーディ、ハーブ・エリス、サル・ネステイコ、ジョージ・ケープルス、アーネスティン・アンダーソン、ダイアン・シュア、アニタ・オディなど、華麗な共演歴を誇る。過去の共演者の名前を挙げるだけで近代ジャズ史が語れてしまう、まさにジャズの生き字引。レコーディング参加アルバム数は自己リーダー作を含め100枚以上にものぼり、西海岸のジャズシーンの中心的存在である。バド・シャンク、テディ・エドワーズらと結成された『West Coast All Stars』でヨーロッパでも活躍した。1986年、松本英彦氏のゲストプレイヤーとして初来日、1998年よりC.U.G. Jazz Orchestraのメインソリストとしてたびたび来日。共演者の信頼と観衆の期待を100%裏切らないばかりか、その何倍もの暖かいものを残してくれる彼の音楽と気さくな人間性は、アメリカやここ日本の多くの音楽家に尊敬され、愛されつづけている。

池田 篤 (Atsushi Ikeda) Alto Sax

1963年横浜生まれ。国立音楽大学器楽科卒。在学中より、同窓の椎名豊(p) 五十嵐一生(tp)と活動を始め、山下洋輔(p)のグループなどに参加。85年、山野ビッグバンド・コンテストで優秀ソリスト賞受賞。90年渡米。マーカス・ベルグレイヴ(tp)との共演を通じて多大な影響を受けた。95年帰国し日本での活動を再開し、96年「Everybody's Music」(King Records)を発表。03年より、辛島文雄(p)のグループに参加。04年、05年、06年と立て続けに自己のアルバムを発表。06年秋、ジェイ・トーマス(tp)小濱安浩(ts)と共に日米混合バンド The East West Alliance を結成し、シアトルで開催された Earshot Jazz Festival に出演、レコーディング。07年、アルバム「The East West Alliance」(CUG Records) を発表。09年、教則本『The Jazz 道 アドリブの扉』(Yamaha Music Media)発刊。The East West Alliance で、Earshot Jazz Festival (シアトル) に再び出演。新宿 PIT INN でのライブ録音 CD『Here We Are』(Pit Inn Music) を発表。10年、教則本『The Jazz 道 アドリブの極意』(Yamaha Music Media)発刊。

Guest : "シアトルフレンズ"

片山 士駿 (Flute) / 乾 帆奈 (Piano) / 金子 礼 (Alto Sax)

シアトル在住のジェイ・トーマス氏はシアトルにて毎年開催されるジャズキャンプ「Centrum's Jazz Port Townsend」で講師も務め、自宅へのホームステイなど、ジャズキャンプへ日本から参加した若きミュージシャン達をサポートしている。

今回は、そのシアトルジャズキャンプ参加の若者たちも集結！

小濱 安浩 (Yasuhiro Kohama) Tenor Sax

1960年広島県広島市生まれ。日本福祉大学在学中より宮沢昭氏、井上淑彦氏、森田利久氏等に師事。滝野聡(Gt)、原朋直(Tp)、上村信(Bass)等と共にライブ活動をはじめ。86年渡米、ラルフ・ボーエン、ジュニア・クック、バリー・ハリスなど多数のミュージシャンと親交を深めると共にメル・ルイスオーケストラに大きく影響を受ける。89年C.U.G. Jazz Orchestra を結成。91年、大坂昌彦&原朋直クインテットで初レコーディング。93年より7年に渡り、村田浩 Bop Band に参加。その間ライブアルバム「Funks One」に参加。2005年「日韓友情年2005年」の記念事業として自己クインテットで韓国公演もはたす。06年、愛知県芸術文化選奨文化賞受賞(C.U.G.)。06年、09年アメリカイヤーショット Jazz Fes. に The East West Alliance (Jay、小濱、池田 Sextet) として出演、レコーディング。現在は自己のカルテット、池田篤、Jay Thomas 等とのクインテット、セクステット藤山"ET" 英一郎セッション、C.U.G. Jazz Orchestra 等を中心に、数々のセッション等で活動中。BeBop からコンテンポラリー まで、テナーの本道を行くプレイヤーである。また、後進の指導にも力を注ぎ、新世代を担うリーダーとしても注目される人望厚きミュージシャンである。CUG Jazz Orchestra CUG records 主宰。

金子 健 (Ken Kaneko) Bass

1964年、東京生まれ。国立音楽大学卒業後演奏活動をはじめ、同時に高校の音楽講師も6年間つとめる。コントラバスを松野茂、永島義男両氏に師事。ジャズ・ベースを池田芳夫氏に師事する。1993年、岡安芳明(g)『Midnight Groove』(キングレコード)に参加後、山本剛(p)、大隅寿男(ds)、阿川泰子(vo)等、多くのミュージシャンと共演。参加したアルバムも多数。2005年には、自己のリーダー作『I Like It!』Ken's Trio+1(WNR)を発表後、『The Chant』(2006年)、『Tripression』(2009年)と計3枚のCDをリリースする。また、2007年以降は山下洋輔(p) Special Big Band、寺井尚子(vln)カルテット、矢野沙織(as)カルテット等のツアーやレコーディングにも参加している。2010年5月には、ベニー・グリーン(p)、井上智(g)とのリーダーユニット"KBS TRIO"のアルバム『What Am I Here For』も発売され、スイングジャーナル誌「ゴールドディスク」を受賞。2012年にはKBS Trio 2nd CD『RESONANCE』、2015年3rd CD『Delight』も発売された。2006年から国立音楽大学講師も務め、後進の指導にもあたっている。bf Jazz School 主宰。

倉田 大輔 (Daisuke Kurata) Drums

1970年滋賀生まれ愛知大学ブルースターズ・ジャズ・オーケストラでドラムを始め、卒業後、和田直(G) 納谷嘉彦(P) 小濱安浩(Ts) ケイコ・リー(Vo) 水野修平(P) 等のグループで活動。1999年ニューヨークへ渡り、ジェイ・トーマス(Tp, Ts) グラディ・テイト(Dr,Vo) ベニー・ゴルソン(Ts) パレリー・ポノマレフ(Tp) アレン・ファナム(P) ジミーブリーチャーロビンス(Org,Vo) 敦賀明子(Org) 等と共演、ジャズのみならず Soul、R&B、ラテン、サルサなど幅広い活動を行う。2006年NYで録音した初リーダーアルバム“A Foreign Sky”発表。また、シアトルで録音された“The East West Alliance”/Jay-Kohama-Ikeda Sextet の3枚のアルバムにレギュラーメンバーとして参加。2007年帰国後、東京を拠点に池田篤(As) 丸山繁雄(Vo) ジャミンゼブ(Vo) などのグループ、数多くのセッションで活動。2011年再び名古屋に拠点を移し、自己のグループ、CUG Jazz Orchestra、nEO sTANDARD sOUL 他様々なセッションで活動中。